

## 行政視察報告書

平成29年 11月26日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 坂本 公明 ⑩ 議員 原田 てつよ ⑩  
 議員 三谷 渡 ⑩ 議員 ⑩

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

### 記

【1】

住 所	姫路市西延末426-1
電 話	
視察案件	全国市議会議長会研究フォーラム
期 日	平成29年11月15日(水)～11月16日(木)
応 対 者	基調講演(中邨 章明治大学名誉教授), パネルディスカッション(2日間)
視察状況	別添写真の通り
訪問施設	姫路市文化センター(大ホール)
概 要	1 月基調講演(中邨 章, 明治大学名誉教授)
	2 演題・・・「議会改革の実績と議会力の向上・政策創造の立法部を考える」
	① 変わる地方議会, 議会基本条例制定後10年余りが経過し, 約6割が制定済み
	議会基本条例の意義と成果について(議会に関する意識・認識・知識の深化, 議会内組織の再検討 反問権など, 議会活動の活性化 議会報告会など)
	② 改革から政策創造へ・人口減少と地域振興 人口減少社会において市町村合併より今後「連携中枢都市圏構想」が出現(連携中枢都市宣言・連携協約の締結・都市圏ビジョンの策定)

	<p>③ 地方議会のこれから防災と政策創造</p> <p>防災に関連して、議員個人でなく、議会としての対応が必要である（地域住民と連携した災害対応業務・避難所回り、被災者相談・助言などの対応を図ることが重要である。</p> <p>④ 議会の防災業務への積極的な対応</p> <p>災害対策基本法・行政の監視機能を果たしていくことが肝要である。</p> <p>2パネルディスカッション</p> <p>11月15日（PM） 「議会改革をどう進めて行くか」</p> <p>議会改革で今後重点を置くべき項目</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に対して積極的な議会活動の、情報公開及び情報発信に努めること。</li> <li>・市民が参画しやすい開かれた議会運営に努めること。</li> <li>・市民の意思を的確に把握し、市政及び議会活動に反映させるように努める。</li> <li>・市長その他の執行機関の市政運営に、について監視及び評価を行うこと。</li> </ul>
感想	<p>11月16日（AM） 「議会基本条例のこれまでとこれからを考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加の推進（参考人制度の活用・市議会モニター制度・請願趣旨の聴取）</li> <li>・議員間討議及び政策提案（議員政策研究会・政策提言・議員研修）</li> <li>・議会基本条例を通して地方自治を考える（二元代表制あることの確認・改革を後戻りさせない市民との約束の遵守する。</li> </ul> <p>感想として…議会改革の中で議会基本条例がどのように活かされているか、定期的な見直しが必要である。現状維持は退化の始まりである。人口減少の中地方自治を支える人材の確保と、あらゆる競争原理を働かせることが重要である</p>
添付書類	

# 視察状況写真

